

会議顛末報告書

							記録者	主幹 飯田 元之		
供覧	部長	課長	補佐	主査	係長	課員				
		政策監								
件名	第1回 龍ヶ崎市道の駅整備基本計画策定検討会議									
年月日	平成28年6月23日(金)									
時間	午後1時30分から午後2時30分									
場所	市役所5階 全員協議会室									
出席者	<p>【参加団体】 出席団体名簿のとおり</p> <p>【執行部】 中山市長、川村副市長、松尾総合政策部長</p> <p>【事務局】 道の駅プロジェクト課 中嶋課長、由利課長補佐、記録者</p> <p>【道の駅整備基本計画策定支援業務委託受託者】 セントラルコンサルタント(株) 3名</p>									
欠席者	0人									
傍聴	0人									
議題	<p>1 開会</p> <p>2 市長挨拶</p> <p>3 参加者及び事務局紹介</p> <p>4 議事</p> <p>(1) 座長の選出</p> <p>(2) 道の駅整備の概要について</p> <p>(3) 道の駅の整備方針・課題について</p> <p>(4) 今後のスケジュールについて</p> <p>5 閉会</p>									
情報公開	公開	非公開(一部非公開を含む)とする理由				(龍ヶ崎市情報公開条例第9条 号該当)				
	部分公開 非公開	公開が可能となる時期 (可能な範囲で記入)				年 月 日				

龍ヶ崎市総合政策部道の駅プロジェクト課

事務局	【開会】
中山市長	【挨拶】
事務局	【出席団体、執行部、及び事務局紹介】
【議事】 (1) 座長の選出について	
≪座長に【龍ヶ崎市商工会】氏を選出≫	
座長	【挨拶】
座長	議事に入ります。「道の駅」整備の概要と「道の駅」の整備方針・課題について、関連しますので一括して事務局から説明願います。
【議事】 (2) 道の駅整備の概要について (3) 道の駅の整備方針・課題について ≪資料に基づき、一括して事務局より説明≫	
座長	事務局の説明を受けまして、どのような「道の駅」を目指していくのか、どのような施設がよいのか、皆様のご意見をお聞きしたいと思います。 【流通経済大学】さん、いかがでしょうか。
流通経済大学	整備予定地を考えた場合、常磐道の利用者が立ち寄るのかなという疑問があります。国道6号沿いなので、かなりの交通量がありますし、私も使うのですが、千葉県内の人たちにとっては、常磐道が混んでいるときとか、ここを使って向かっていくということも想定できますが、一般的には通勤を中心とした日常的な利用であるとか、観光についてはやはり土日限定されると思います。従ってその土日の観光客、市外からの人たちを対象とする一方で、市民の人たちを中心として日常的に利用できるようなあり方というのを探ってみることが必要になると考えています。
座長	【女性会】さん、地元ですので何かご意見いただければと思います。
女性会	道の駅ができることはとても嬉しく思っています。東京にも近いので日帰りである人が多いと思います。主婦としては帰りに夕飯用の野菜や惣菜等を買おうかということが必要があると思います。以前はうなぎ屋が多くあって高速ができる前まではすごく栄えていたんですが、高速ができてからはお客さんが少なくなっていったと聞いています。高速も上り方面はすごく混む時もあるので、こちらの6号に回ってもらえるように案内できればいいと思います。「うなぎ街道」で一時は有名になりましたから、それを復活させていただきたいと思います。
座長	【青年会議所】さん、どうでしょうか。
青年会議所	道の駅には大変期待しています。青年会議所ということで若者世代を代表して意見を言わせてもらいますと、まず既存の道の駅は野菜の直売所というイメージがあります。若者はおそらくそういう所へは行かないと思います。今までの既存の概念にとらわれない、龍ヶ崎市としての道の駅づくりをしていかなければ、20年後、30年後、50年後は、ただの休憩所になっていると思われそうですので、既存の概念にとらわれない、道の駅を作っていただければと思います。
座長	【住民自治組織連絡協議会】さん、いかがでしょうか。

<p>住民自治組織連絡協議会</p>	<p>私は佐貫駅西口に住んでいまして、今回、道の駅ができるということで大変嬉しく思っています。最近は多くの道の駅ができていますが、これから道の駅を整備していくのであれば、子どもたちをどうここに誘導するかを考えてほしいです。例えば、我々が小さい頃はドジョウやうなぎ掴みだとか、蛭とかがありました。そういう思い出を子どもたちにどう繋げていけるのか考えてほしいです。近隣の千葉県などの子どもたちも牛久沼に来たくなるような、いろいろな体験も楽しめる場にしていただきたいです。特に私が考えているのは、遊覧船で牛久沼を周遊するとか、そういう夢のあることを考えて、夢を求めてくる子どもたちをどうここに誘導できるのかということが、今後の課題ではないかと思っています。</p>
<p>座長</p>	<p>【観光物産協会】さん、どうでしょうか。</p>
<p>観光物産協会</p>	<p>観光物産協会としては物産品販売等の地域連携機能に注目しており、協会独自でブランド化の確立に向けて動いています。「江戸崎かぼちゃ」など、いろいろな地域でブランド化が進められていますが、新たに龍ヶ崎ブランドというものを作るのには容易ではないと考えています。協会で考えているブランドというのは、品質や安全性であり、龍ヶ崎ブランドという形で、龍ヶ崎市の加工品や農産物は安心ですよということを売りにしていきたいと考えています。例えば、木工品を扱っている業者もありますが、そういう物も基準をクリアしているというように、ソフトの部分のブランド化というものを今進めていこうとしているところです。ある程度のハードルを作って、それをクリアした商品を道の駅のメイン商品として1番目につくところに並べていきたいと考えているところです。</p> <p>また、先ほど住民自治組織連絡協議会からもご意見があったのですが、遊覧船もいいと思います。資料の地図を見ますと中州のような島があるんですね。この島がどのような所なのか、私も54年間龍ヶ崎に住んでいますが分かりません。上陸できるのかどうかもわからないのですが、こうした場所も利用した遊覧船とか、水に親しむとか遊ぶということも必要なのかなと思っています。</p> <p>ゲートウェイ型の道の駅を目指すということで、東京からの入り口にあたる部分ではありますが、先ほど、流通経済大学からもあったように常磐道を使って通り過ぎてしまうのかなという懸念がありますので、龍ヶ崎の道の駅に行くという目的型を目指す、その一つとして遊覧船もいいのではないかと考えます。現実的かどうかはわかりませんが、橋を渡して島に上がれるとか、遊べるような機能もあると面白いのかなと思っています。</p> <p>あともう一つ、道の駅には野菜関係等の農作物は必要だと思います。これがないと人を集めるとするのは難しいのかなと思っています。そういうのを期待していらっしゃる方も多々いると思いますので、そういう部分も含めて、観光物産協会としては、いろいろなアイデアを出して、かっこいい、来てもらえるような、ありきたりの道の駅ではないものを作っていきたいなと思っています。</p>
<p>座長</p>	<p>今、野菜の話が出ましたが【竜ヶ崎農業協同組合】さん、いかがでしょうか。</p>
<p>竜ヶ崎農業協同組合</p>	<p>我々は農作物の供給という面で協力できるかと思いますが、龍ヶ崎管内は水稻単作地帯といっても過言ではないところですので、JAグループを通してどの程度各地域のブランド、野菜類を集められるか、今はそのイメージがまだつかない状態ですが、県内の道の駅でどのようにJAが関与しているのか、まずはそこから調べ始めているところです。</p>
<p>座長</p>	<p>やはり農産物はどこの道の駅でもメインになっているのかなと思いますので、よろしくお願います。単なる道の駅というのではなく、牛久沼を活用した遊覧船などの意見や島の話もありましたけれども、京成バラ園があったときにアヤマ園があったという記憶があるのですが、事務局わかりますか。</p>

事務局	整備予定地のところに貸しポートがあって、その貸しポートを使って、この島と称するところに渡れたと記憶しています。
座長	島もいい一つのポイントになるかと思しますので、検討いただければと思います。それでは、本日は国や県の担当者の皆さんにもご出席いただいていますので、事務局から何か伺うことはありますか。
事務局	牛久沼に面していて、予定地が河川区域であることから、河川法上の課題もあります。河川管理者である茨城県の関係課には、これからご指導、ご協議をさせていただきたいと思っています。また、国交省とは、一体型整備ということで様々な課題や進め方について、ご指導ご協議させていただきたいと考えています。
座長	国、県の皆様には様々な課題等について、今後ともご相談させていただきたいと思しますので、ご指導をお願いいたします。国、県の皆様には、本日大変お忙しい中、お越しいただいております。せっかくの機会ですので、何かご意見等いただければと思います。国土交通省さん、いかがでしょうか。
国土交通省	常陸河川国道管内の国道6号沿いにはまだ道の駅はないので、1号目ということになります。施設についてはしっかり議論していただいて、より良いものを作っていただければと考えています。我々としては、国道6号からのアクセスに着眼しています。賑わえば賑わうほど、道路上の問題が浮き彫りになってまいりますので、先ほど事務局からの課題にもありました交差点、出入口の調整とか、今後賑わいの見込みをつけた車の流れの誘導とか、そういったところはしっかり協議していきたいと考えています。行きたいと思った人が行けない施設ではいけないので、この部分はきめ細かに詰めていければと思います。龍ヶ崎市との調整も必要になってくるものと思しますので、その辺はよろしく願います。 道の駅については、国交省もいろいろバックアップをしているところもありますので、その他の道路以外の面で情報が入れれば、共有していきながら、いいものを作ればと思っていますので、よろしく願います。
座長	地域計画課さん、いかがでしょうか。
地域計画課	地域計画課としては、直接、道の駅に関する事業というのはありませんが、地域振興全般的な業務を扱っていますし、地方創生関連の予算もありますので、そういうところで情報提供などさせていただければと思っています。道の駅関連の事業については、最近、県北でも事例があります。そういった情報なども提供させていただければと思っています。 ところで、道の駅の予定地の土地については、すでに市の方で所有されているという理解でよろしいのでしょうか。それと、予定地は30,000㎡くらいありますが、ここは全部使うつもりでお考えなのでしょうか。
事務局	土地の所有は、当市、龍ヶ崎市と河内町との共有地になっています。10分の8が龍ヶ崎市、残りの2が河内町の所有となっています。河内町の町長名で道の駅の整備にあたっての同意書については、既に頂戴をしているところです。予定地の32,000㎡の内どのくらいを使うのかということについては、今後この基本計画策定の中で整理をしていきたいと考えています。追加資料では、必要面積は15,000㎡から20,000㎡を想定していますが、これは、前面道路の交通量や平均的な道の駅の整備状況などから機械的に割り出した数字です。基本計画策定の中で必要なスペース、建物配置等について整理していきたいと考えています。
座長	観光物産課さん、いかがでしょうか。
観光物産課	首都圏に近いというところで観光誘客という面では大きな規模を期待できるのではと思っていますが、それを継続していくためには、やはり地元の方々に利用されたり、愛されたりということが重要にはなってくるかと思っています。また、観光物産課で扱っている事業には、ハード整備の補助制度がありませんので、宣伝周知であるとか、

	情報発信といったソフト面において、ご協力させていただければと考えているところです。
座長	ありがとうございます。道路維持課さんはいかがでしょう。
道路維持課	資料に防災機能として、支援部隊の集結拠点とか、帰宅困難者の支援の場という記載があります。その下に写真で、非常用浄水とか非常用電源とかが参考として掲載されていますが、県内の道の駅で防災施設が導入されているのが、常陸大宮と常陸太田になります。そこには防災倉庫はありますがこういった機能はありません。資料のハザードマップに浸水域の表記なども示されていますが、全体的に判断していただきながら、できるだけ防災機能も入れていただいた方がいいのかと思います。
座長	続きまして、販売流通課さん。
販売流通課	農産物等の6次産業等でご協力できるかと思います。龍ヶ崎市はトマトが有名と伺っています。常総市の企業で有名になっている会社もありますので参考にさせていただきながら6次化を進めていただくとともに、トマトだけではなく他にも農産物はあるかと思うので、ブランド化に向けてご協力をさせていただければと思います。
座長	龍ヶ崎工事事務所さん、いかがでしょう。
龍ヶ崎工事事務所	新しい道の駅を作れば、最初は珍しいということを利用していただけるかと思うのですが、資料の道の駅の登録状況にもありますとおり、平成5年当初に比べると10倍以上の道の駅が登録されています。中には経営の悪化により登録が抹消されている施設もありますので、いかにリピーターを増やすか、そして他の道の駅との差別化を図っていくのかといったことを真剣に考えて取り組んでいただきたいと思います。
座長	続いて河内町さん、いかがでしょう。
河内町	河内町としては農産物の供給などで連携していければと考えています。生きがいで農産物を作っている高齢者の方もいらっしゃいますので、道の駅に置いていただければと思います。道の駅効果で交流人口が増えてくると人の流れがきますので、町のPRの場としても、今までは東京をターゲットにすると、成田に近いという形でよく紹介しているのですが、今度は龍ヶ崎市の道の駅のすぐ隣の町だよ、という形でPRもできるのかなと考えます。地域の観光案内も想定されているようですので、地域間連携を図っていければと思っています。
座長	他にご意見、ご質問等はいかがでしょう。はい、【流通経済大学】さん。
流通経済大学	従来の道の駅は、休憩機能と農産物の販売等が中心になっています。そもそも、どんなに良い物を置いていても、寄ってもらわないことには商品の購買にもつながりませんので、どうしたら寄りたくなるのかという視点で考えなくてはなりません。また、こうした施設は最初は人が来ても徐々に廃れていく事例もありますので、継続的に利用していただくためにも、地域の皆さんの利用やリピーターを増やすといった取り組みも必要になると思います。もちろん、この道の駅を目的に来ていただくということを想定するのはいいのですが、今の時代、いろいろな所にいろいろな物があるというような状況ですから、ここでしかできないという設定は難しいのかなというのが正直なところです。ただ、都心部に近くて、でも自然があるというようなことがあるので、千葉県とか県内でも近隣の方が、ちょっと週末に行ってみようかという感じで過ごせるような、できれば1時間でも2時間でも過ごせる滞在型の形につなげていければと思います。 先程も6次産業の話がありましたが、美味しい物が食べられるとか、ゆっくり沼を見ながら過ごせるというような仕掛けもいいと思います。資料にある「赤ちゃんの駅」という視点も重要だと思います。おむつ替えとか授乳というキーワードが出ていますので、2歳ぐらいまでの乳児を想定しているのかと思いますが、幼児から小学校低学年ぐらいまでの子供を連れて車で移動する際に、ちょっと解放させられる

	場所があるとすごく助かると思います。幼児が遊べる場所があると親もリラックスできますし、あそこに寄ろうという気持ちにもなると思います。犬を連れてくる人も、犬がリラックスできる場があれば寄っていくので、そのような機能があってもいいと思います。そこに、野菜や惣菜を買って帰ろうということが付随していくと日常の延長の中の継続利用が期待できるかなと思います。
座長	ありがとうございます。事務局には本日の意見を参考にさせていただきたいと思います。他にご意見がないようでしたら、次の議事に進めさせていただきます。今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。
<b>【議事】</b> (4) 今後のスケジュールについて 《資料に基づき、事務局より説明》	
座長	ありがとうございました。ただ今の事務局からの説明につきまして、ご意見、ご質問等はありませんか。
<b>【意見・質問なし】</b>	
座長	ご意見等がないようでしたら本日の会議はこれで終了とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。
事務局	<b>【閉会】</b>

龍ヶ崎市総合政策部道の駅プロジェクト課

※各団体からの発言内容は、一部要約して掲載しています。